2019-2020

第1446回 Oct.23.2019 No.14

東京新都心ロータリークラブ 【お互いをよく知り、楽しいロータリー活動をしよう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアット リージェンシー 東京11階
TEL：03-3340-3555 FAX：03-3340-3554
HP：http://www.tokyo-shintoshin-rc.org E-mail：shintoshin-rc@par.odn.ne.jp
会長 北岡修一 幹事 佐原旦朗 創立：1988年9月21日

「極地から学ぶ、宇宙から考える」

特定非営利活動法人フィールドアシスタント
代表 村上祐資 氏

SDGsの目標のように、私たちの社会は多くの課題を抱えており、その問題は複雑に絡みあっています。そうした社会課題を、厳しい環境のなかでも持続可能であることを前提とした、極地や宇宙から学び、考えることは、私たちに多くの気づきを与えてくれます。

私たち特定非営利活動法人フィールドアシスタントは今年、2度の宇宙船を模した閉鎖環境での生活実験を行いました。食糧や人財など、さまざまな資源が限られている閉鎖空間では、ひとは「分け合う」ことよりも「損をしない」気持ちに傾いて行きます。そうした厳しい環境のなかで、生き延びるためのサバイバル生活ではなく、生きている実感を日常のなかに積み上げていくこと。それが私たちの目標です。

「極地から学ぶ、宇宙から考える。」そんな私たちの取り組みを、皆さんにご紹介出来るのを楽しみにしております。

経歴

1978年生まれ。南極やヒマラヤなど、極地とよばれる厳しい環境にある美しい暮らし方を探すために、様々な極地の生活を踏査してきた極地建築家。特定非営利活動法人フィールドアシスタント代表。2008年に第50次日本南極地域観測隊に越冬隊員として参加し、日本の南極観測基地である昭和基地で15ヶ月間にわたりミッションスペシャリストとして地球物理観測に従事。2013年に The Mars Society が計画を発表した長期の模擬火星実験 Mars160では、三年間にわたる選考を経て副隊長に選ばれ、2017年に地球にある二つの模擬火星環境、米ユタ州ウェイネ砂漠のMDRS基地および北極圏デヴォン島のFMARS基地で計160日間の実験生活を完遂した。続く2018年のMDRS Crew191 TEAM ASIAでは隊長を務めた。“地球の三極”ともよばれる南極・北極・エベレストをはじめ、これまでに積み重ねてきた極地での生活経験は1000日を越え、人間が生きることと建築の係わりをひも解く“Inter-Survival”をテーマにした活動は、ワークショップやインスタレーション、ラジオパーソナリティー、教育、執筆活動など多岐にわたる。慶應義塾大学大学院AUDプログラム修了。東京大学建築学専攻博士課程単位取得退学。防災士。www.fieldnote.net

第1446回例会 10月23日（水）

「極地から学ぶ、宇宙から考える」
特定非営利活動法人フィールドアシスタント
代表 村上祐資 氏（紹介者 吉田寿人会員）

次回のプログラム
第1447回例会 11月6日（水）
「未定」